

取扱説明書

ワイアレス サウンドバー

このたびはLG製品をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。
お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください。

モデル

SL5Y (SL5Y, SPL5B-W)

安全にお使いいただくために

この「安全にお使いいただくために」は、商品を正しく安全にお使いいただき、また事故や危険を未然に防ぐためのものです。お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。



警告

取り扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



注意

取り扱いを誤った場合、人がけがをしたり物的損害を受けたりするおそれがある内容を示しています。

■ 図記号の意味



禁止

禁止内容（してはいけないこと）を表しています。



プラグを抜く



ぬれ手禁止

注意内容（気をつけること）を表しています。



指示

指示内容（しなければならないこと）を表しています。



警告

異常や故障のときは

- 本機を倒したり、筐体が破損したときはすみやかに電源プラグを抜く。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。すぐに当社カスタマーセンターにご相談ください。
- 故障や異常に気づいたら本機の電源を切り電源プラグを抜く。
 - 煙や異臭がする。
 - 画面が映らない、音が出ない。
 - 内部に液体や異物が入った。
 そのまま使用すると火災や感電の原因となります。すぐ当社カスタマーセンターに修理をご依頼ください。



プラグを抜く



プラグを抜く



注意 お手入れについて

- リモコン用の乾電池を正しく使用する。指定以外の乾電池は使用しない。極性表示[+]と[-]を間違えない。充電・過熱・分解をしたり、ショートさせたりしない。表示されている「使用推奨期限」を過ぎた乾電池や使い切った乾電池はリモコンに入れておかない。種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない。液漏れや破裂によって、やけどやけがの原因になる恐れがあります。



指示

⚠ 警告 電源について

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、加熱したりしない。
火災や感電の原因になります。コードが破損した場合は、直ちに当社カスタマーセンターにコードの交換をご依頼ください。



禁止

- 電源プラグは根元までしっかりと差し込む。
電源コンセントに差し込んだ電源プラグが外れかけたまま使用された場合、火災や感電の原因となります。電源プラグを長い間差し込んだままお使いになる場合には、定期的にご確認ください。



指示

⚠ 注意 電源について

- 電源コードを熱器具に近づけない。
電源コードの被覆が溶けて火災や感電の原因となる場合があります。



禁止

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となる場合があります。



ぬれ手禁止

- 電源プラグを抜くときはコードを引っ張らない。
電源コードの損傷や断線により、火災や感電の原因となる場合があります。



禁止

- タコ足配線をしない。
火災や感電の原因となる場合があります。



禁止

- 本体が壁のコンセントに接続されているときは、本体の電源ボタンまたは電源スイッチを切っても、電源は接続状態になっています。

⚠ 注意 電源について

- 接地（アース）接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行う。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行う。
- 本製品付属の AC アダプタ以外を使用しないでください。他の機器などの AC アダプタは絶対に使用しないでください。異なる電圧や極性の AC アダプタを使用すると故障の原因になります。付属以外の AC アダプタの使用による故障は保証の対象外になります。



禁止

⚠ 警告 設置について

- 屋外や浴室など、水がかかるおそれのある場所や、窓際など水滴の発生する場所に置かない。
火災や感電の原因となります。



禁止

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。
本機が倒れたり落下したりすると、火災や感電の原因になります。また、本機の下敷きになり、けがをするおそれがあります。



禁止

- 振動のある場所に置かない。
振動で本機が動いたり、倒れたりすると、火災や感電の原因になります。また、本機の下敷きになり、けがをするおそれがあります。



禁止

- 本機の近くに花びんや水の入った容器などを置かない。
水がこぼれて内部に入った場合、火災や感電の原因となります。



禁止

⚠ 警告 お手入れについて

電源コンセントに差し込んだ電源プラグの周りにゴミやほごりが付着している場合、乾いた布でふき取る。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
事故、火災防止のため、定期的に電源プラグを点検してください。



指示

⚠ 注意 設置について

- 転倒・落下防止の処置をする。
地震などによる転倒、落下によるけがなどの危害を軽減するため、転倒・落下防止の処置をしてください。



指示

- 温度の高い場所に置かない。
直射日光のあたる場所、閉め切った自動車内、ストーブのそばなどに置かないでください。キャビネットの変形や故障による火災や感電の原因となる場合があります。



禁止

- 湿気やほごりの多い場所、油煙の当たる場所に置かない。
調理器や加湿器などのそばやほごりの多い場所に置くと、火災や感電の原因となる場合があります。



禁止

- 電源プラグが容易に抜き差しできるように設置する。
本機は主電源プラグを遮断装置として使用しております。機器は主電源コンセントの近くに設置し、遮断装置へ容易に手が届くようにして下さい。



指示

- 通気孔を塞がない。製造者の指示に従って設置する。
キャビネットのスロットや開口部は通気のためにあり、製品の正常な作動と、加熱防止のために必要です。製品をベッド、ソファ、敷物などの上に置くことによって開口部を塞ぐことが決まっていないようにしてください。適切な換気が確保できるか、製造者による指示が貼付されている場合を除き、製品を本箱や棚に組み込んで設置してはいけません。

⚠ 警告 ご使用について

- 包装に使用しているポリ袋は小さなお子様の手の届くところには置かない。
かぶったり飲み込んだりすると、窒息などの事故につながる恐れがあります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。



禁止

- 内部に異物を入れない。
通風孔などから内部に異物が入ると火災や感電の原因となります。特に小さいお子様が誤って異物を入れたりしないようご注意ください。



禁止

修理や改造、分解をしない。
内部には高電圧の部品が使用されており、触れると感電の原因となります。故障や点検は、必ず当社カスタマーセンターにご依頼ください。



禁止

- 雷が鳴り出したら電源コードやプラグに触れない。
感電の原因となります。



禁止

- 風通しの悪い場所に設置したり、密閉した箱などに入れたりしない。
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となる場合があります。壁や他の機器と間隔を空けて設置してください。
仰向けや横倒しにして設置したり、また、布などをかけて使用することはおやめください。



禁止

⚠ 警告 電源について

- 交流 100V 以外の電圧で使用しない。
火災や感電の原因となります。



禁止

- 電源コードに重いものを載せない。
火災や感電の原因となります。



禁止

⚠ 注意 ご使用について

- 本機に寄りかかったり乗ったりしない。けがの原因となる場合があります。とくに小さなお子様にはご注意ください。
- 旅行などで長期間使用しない場合は、安全のため電源プラグを抜く。万一の故障のときに火災の原因となる場合があります。



禁止



プラグを抜く

⚠ 注意 お手入れについて

- 乾電池を火の中に投入したり、加熱したりしないでください。
- 乾電池は、極端な温度条件下で保管しないでください。
- お手入れのときは電源プラグを抜く。感電の原因となる場合があります。



指示



プラグを抜く

本製品はポータブル電源または蓄電池を装備しています。

リモコンの電池が切れたときは

リモコンから乾電池を取り外す際は、取付けの手順を逆に行ってください。乾電池、または電池パックの廃棄は、お住まいの地域の自治体の指示または規則に従って、正しく処分してください。電池を火の近くや直射日光の当たる場所、暖房器具や加湿器の近くなど高温・高湿の環境に置かないでください。

注意： 本機が水滴やはね水を受けないように、液体の入った花瓶などを本体の上に置かないでください。

注意： 製品識別および定格電圧を含む安全表示については、本機の下面にあるメインラベルを参照してください。

また、本機の近くで高電圧機器を使用しないでください。機器間の電圧の干渉により、本機が故障するおそれがあります。

本体が壁のコンセントに接続されているときは、本体の電源スイッチを切っても、電源は接続状態になっています。

シンボル

～	交流（AC）を示しています。
≡	直流（DC）を示しています。
⏻	クラスⅡの機器を示しています。
⏻	スタンバイを示しています。
⏻	「ON」（電源）を示しています。
⚡	危険な電圧を示しています。

2.4 FH1

モーションリモート用（Bluetooth）

この表示のある無線機器は、2.4 GHz帯を使用しています。

変調方式としてFH-SS方式を採用し、与干渉距離は10mです。

<本製品の使用上の注意事項>

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。

2 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。

3 その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、巻末に記載のカスタマーセンターにお問い合わせください。

オープンソースソフトウェアに関するお知らせ

この製品に含まれているGPL、LGPL、MPL、その他のオープンソースライセンスでのソースコードを取得するには、<http://opensource.lge.com>を参照してください。

ソースコードの他に全てのライセンス事項、保証の免責事項、著作権表示などをダウンロードできます。

opensource@lge.com宛てに電子メールで要求いただくと、配布に必要なコスト（メディア、出荷、取扱いにかかるコスト）を含む実費にて、LGエレクトロニクスよりCD-ROMでオープンソースコードを提供します。この提供は製品ご購入後3年間有効です。

目次

1 はじめに

- 3 安全にお使いいただくために
- 10 表示の説明
- 11 前面パネル
- 12 背面パネル
- 13 リモコン
- 16 サウンドバーを設置する
- 17 壁に取り付ける

2 接続

- 19 ケーブルの整理（オプション）
- 19 ACアダプタの接続
- 20 ワイヤレスサブウーファースの接続
- 22 テレビに接続する
 - 22 - オプティカルケーブルを使用する
 - 22 - LG Sound Sync
 - 24 - HDMIケーブルを使用する
 - 24 - ARC（オーディオリターンチャンネル）機能
 - 24 - SIMPLINKとは
- 25 - HDMIに関する追加情報
- 26 オプション機器の接続
 - 26 - HDMI接続
 - 27 - OPTICAL IN接続
 - 27 - USB接続
 - 27 - 互換性のあるUSBデバイス
 - 28 - USB機器の要件
 - 28 - 再生可能なファイル

3 操作

- 30 基本的な操作
- 30 - USBデバイスの操作
- 31 その他の操作
- 31 - お使いのテレビのリモコンを使う
- 31 - サウンド出力
- 32 - 自動電源オン/オフ
- 33 - 自動機能変更
- 33 クイックスタート
- 34 Bluetooth無線通信技術の使用
- 34 - Bluetoothについて
- 34 - Bluetoothのプロファイル
- 34 - Bluetoothデバイスの音楽の再生
- 36 - ペアリングされているBluetoothデバイスの操作
- 36 - Bluetooth接続ロック (BTロック)
- 36 BLUETOOTHアプリの使用
- 36 - お使いのBLUETOOTHデバイス上に「Music Flow Bluetooth」アプリをインストールします。
- 37 - 「Music Flow Bluetooth」を用いてBLUETOOTHを有効にする

4 故障かなと思ったら

- 38 故障かなと思ったら
- 38 - 一般
- 39 - 無線を使用するにあたっての注記
- 40 - デモモードを解除するときの注意

5 付録

- 41 商標とライセンス
- 42 仕様
- 44 スピーカーの取り扱いについて

1

2

3

4

5

表示の説明

本マニュアルで使用される記号



ヒント

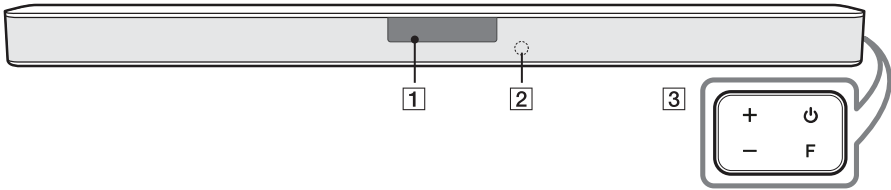
操作する上でご注意いただくこと、操作のヒントを示します。



注意

取り扱いを誤った場合、人がけがをしたり物的損害を受けたりするおそれがある内容を示しています。

前面パネル



1

はじめに

表示窓

- ① - 15秒間ボタンの入力がない場合、表示窓は自動的に暗くなります。
いずれかのボタンを押すと、表示窓が明るくなります。

② リモートセンサー

⏻ (スタンバイ)

- 電源オン/オフの切り替えスイッチ。

F (機能)

- Fボタンを繰り返し押して、機能と入力ソースを選択します。

③

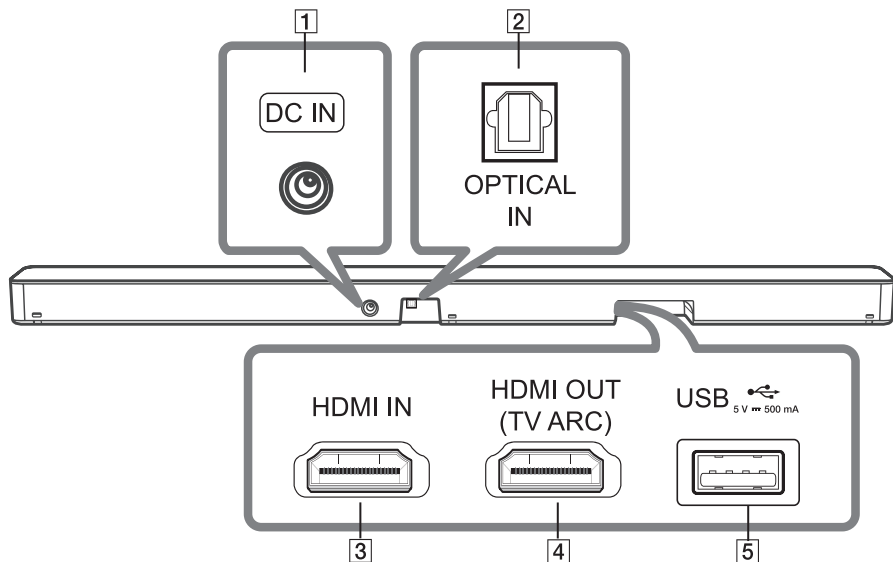
入力ソース/機能	表示
光デジタル(S/PDIF)	OPT/HDMI ARC
HDMI ARC	
LG Sound Sync (有線)	
Bluetooth	BT
LG Sound Sync (ワイヤレス)	LG TV
HDMI IN	HDMI
USB	USB

+/- (音量)

- スピーカーの音量を調整します。

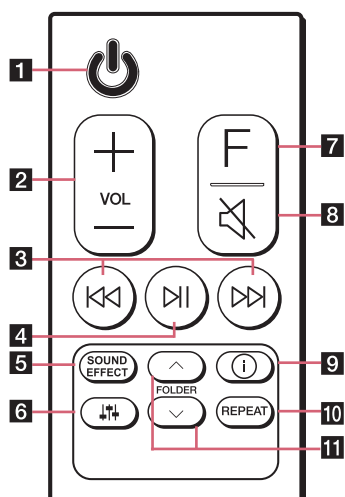
- ❶ 外部機器と接続せずに無信号状態が15分間続いた場合、電力消費を抑えるために自動で電源オフになります。

背面パネル



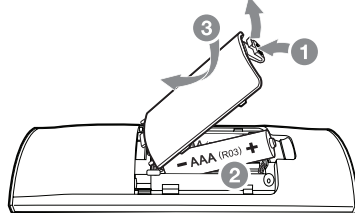
- | | |
|----------|--|
| 1 | DC IN
- ACアダプタに接続します。 |
| 2 | OPTICAL IN
- テレビの光デジタル(S/PDIF)端子と接続します。 |
| 3 | HDMI IN
- 外部デバイスのHDMI OUT端子に接続します。
外部機器をHDMI接続することによって音声と映像をお楽しみいただけます。 |
| 4 | HDMI OUT (TV ARC)
- テレビのARC端子を接続します。 |
| 5 | USBポート
- USBメモリ等のUSBデバイスを接続します。 |

リモコン



電池の交換

リモコンの背面にある電池カバーを外し、**+**と**-**を正しく合わせて電池を入れてください。



1

⏻ (スタンバイ)

- 電源オン/オフのオン、オフを切り替えます。

2

VOL (音量) +/-

- スピーカーの音量を調整します。

3

⏮/⏭ (スキップ/検索)

- 再生している音声ファイルの前のファイル⏮または次のファイル⏭にスキップします。
- 再生中に⏮または⏭を長押しすると、再生中のファイルを早戻し、早送りします。

4

⏸ (再生/一時停止)

- 音声ファイルの再生開始または一時停止します。

• **BT (Bluetooth) 接続ロック** : Bluetoothの接続をLG製のテレビのみに制限します。
(ページ 36)

Bluetooth接続ロックのオン、オフは、⏸を約3秒間長押しすると、スクロールするメッセージが表示されます。メッセージの表示中に⏸をもう一度押します。

1

はじめに

SOUND EFFECT

- **SOUND EFFECT**ボタンでサウンドエフェクトモードを選択します。

5

表示	説明
ASC (Adaptive Sound Control)	音声信号の特性を分析し、コンテンツに合わせて、自動的に適したサウンドを提供します。
BASS BLASTまたはBASS BLAST+	低音を強調してパワフルなサウンドを実現します。
STANDARD	最適化されたサウンドを提供します。
DTS VIRTUAL : X	サラウンド効果による映画に適した臨場感あふれるサウンドを提供します。

- **テレビのリモコン**：お使いの他社製品のテレビのリモコンからでも、本機の音量を調節することができます。(ページ 31)
テレビのリモコン機能をオンまたはオフにするには、**SOUND EFFECT**ボタンを約3秒間長押しした後、もう一度押します。

① 対応テレビブランド

LG	Panasonic	Philips	Samsung	Sharp	Sony	Toshiba	Vizio
----	-----------	---------	---------	-------	------	---------	-------

♪ (サウンドチューニング)

- 本機に搭載している各スピーカーの音量を調整します。
♪を押して調整したい項目を選択し、**VOL + / -**で音量を調整します。

6

スピーカー	表示	範囲
サブウーファー	WF	-15 ~ 6
高音域	TRE	-5 ~ 5
低音域	BAS	-5 ~ 5

F (機能)

- **F**ボタンを複数回押すことで、機能と入力ソースを変更できます。

7

⏏ (ミュート)

8

- ⏏ボタンを押すとミュート(消音)されます。ミュートの状態で⏏ボタンを押すと解除されます。

① (情報)

- 入力ソースの様々な情報を表示することができます。
 - OPT (光デジタル) /ARC/HDMI (HDMI IN) : オーディオ形式
 - BT (**Bluetooth**) : 接続されている**Bluetooth**デバイス名
 - USB : USBに保存されているファイル情報。
- **AUTO POWERオン/オフ** : 音声信号の有無によって本機の電源を自動的にオン、オフにできます。光デジタル、LGテレビ、または**Bluetooth** (ページ 32) の入力信号によって自動的に本機をオン/オフにできます。
自動電源の機能をオン、オフの切り替えは、① ボタンを約3秒間長押しした後、もう一度押します。

REPEAT

- リピートモードまたはランダムモードを選択します。

FOLDER へ/へ

- USBデバイスのフォルダを検索します。
-

サウンドバーを設置する

テレビ、ブルーレイディスクプレーヤー、DVDプレーヤーなどの別の外部機器に本機を接続すると、音声を出力することができます。

本体をテレビの前に置いて、外部機器に接続します。（ページ 22 - 27）

ワイヤレスサブウーファーは部屋のどこにでも配置できますが、サウンドバーの近くに配置することをお勧めします。また、音の反射を防ぐため、部屋の中心に向けて配置してください。

最高のサラウンドサウンドを得るために、以下のようにスピーカーを設置します。



ヒント

- テレビのリモコンセンサーの位置によっては、サウンドバーを近くに設置すると、テレビのリモコンが動作しづらくなる場合があります。その場合は、サウンドバーをテレビから10～15cm程度離れた場所に設置してください。
- イラストはイメージです。実際の製品と異なる場合があります。

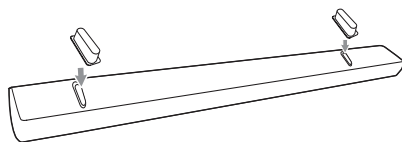


注意

- ワイヤレス接続は本機の下にあるモジュールを通じて通信されるため、**Bluetooth**またはワイヤレスウーファーのようなワイヤレス接続の性能を最大化するために、金属製の家具の上には本機を取り付けしないでください。
- 取り付けまたは移動の際に、本機およびサブウーファーの表面に傷を付けないように注意して下さい。

追加足の取り付け

足カバー（高さ：14mm）を使って、装置の高さを高くすることができます。



1. サウンドバー底面のステッカーをはがし、ゴム足を粘着面に合わせて取り付けます。
2. ゴム足をしっかりと固定させるため、十分な力でサウンドバーに押しつけてください。

壁に取り付ける

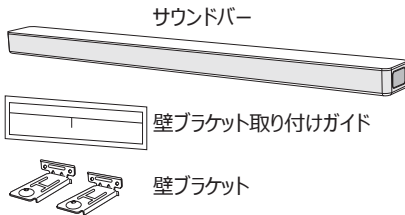
サウンドバーは壁に取り付けることができます。



注意

端子類はサウンドバー背面にあるため、壁に取り付け後にケーブルを接続するのは困難になります。ケーブル類は壁に取り付ける前に接続してください。

取り付けに必要なもの



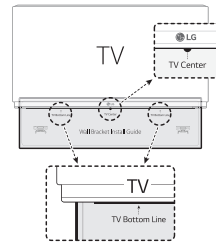
ネジ

付属品以外に必要なもの

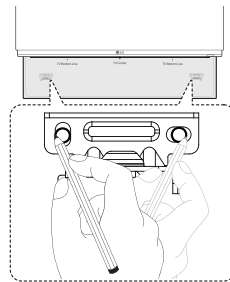
壁用のネジ

アンカーボルト

1. 壁ブラケット取り付けガイドの「テレビ BOTTOM EDGE」をテレビの底部に合わせ、その位置に取り付けます。

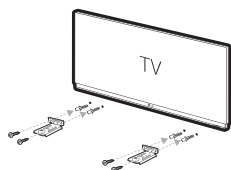


2. 壁（コンクリート）に取り付ける場合は、壁用プラグを使用してください。ドリルで数箇所穴を開けます。穴を開けるために、ガイドシート（壁ブラケット取り付けガイド）が提供されています。シートを使用して穴を開ける場所を確認します。



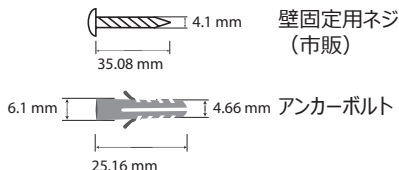
3. 壁ブラケット取り付けガイドを取り外します。

4. ブラケットを壁用のネジ (A) で、下の図のように固定します。

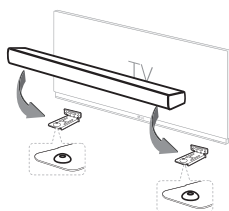


✔ ヒント

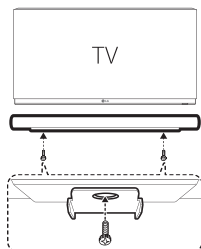
壁用のネジとアンカーボルトは別売です。壁掛けブラケットを取り付けるための市販のネジとアンカーボルトのサイズの目安は、次をご参照ください。壁の材質や強度に応じて、使用するネジの種類および長さが異なる場合もありますので、工事の際には専門の業者にご相談されることをおすすめします。



5. サウンドバーを壁ブラケットの上に乗せ、サウンドバー底面のネジ穴とブラケットのネジ穴を合わせます。



6. 付属のネジでしっかりと固定します。



✔ ヒント

装置の取り外しは、取り付けの手順を逆行してください。

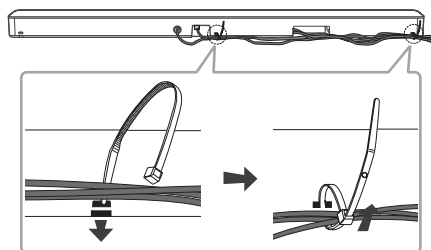
⚠ 注意

- サウンドバーは逆さまに設置しないでください。落下するおそれがあります。落下によってケガをしたり、製品が破損する可能性があります。
- 取り付けたサウンドバーに圧力をかけたり、衝撃を与えないでください。
- サウンドバーが落下しないようにしっかりと壁に取り付けてください。万が一落下すると、怪我をしたり製品が破損することがあります。
- お子様を近づけないでください。ケーブルを引っ張ることで、サウンドバーが落下するなど、思わぬケガをするおそれがあります。

ケーブルの整理（オプション）

ケーブルタイでケーブルを整理することができます。

1. 以下のようにケーブルタイで ケーブルをまとめます。
2. ケーブルタイを締めます。



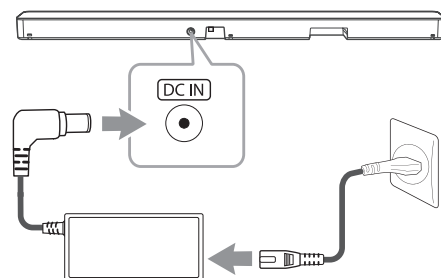
ヒント

- 全ての接続が完了したら、必要に応じてケーブルを整理することができます。
- ケーブルタイは別売りです。

ACアダプタの接続

スピーカーを付属のACアダプタで電源に接続してください。

1. 付属のAC電源コードをACアダプタに接続します。
2. ACアダプタケーブルをDC INアダプタ入力に接続します。
3. 電源プラグをコンセントに差し込みます。



注意

サウンドバーの付属品ACアダプタのみを使用してください。他の機器または他社製のACアダプタは使用しないでください。他の電源ケーブルまたはACアダプタを使用すると、装置が故障し、保証が無効になる恐れがあります。

ワイヤレスサブウーファーの接続

ワイヤレスサブウーファーのLEDインジケータ

LEDカラー	状態
緑色（点滅）	接続されている状態
緑色	接続が完了した状態
赤色	ワイヤレスサブウーファーがスタンバイモード状態が接続に失敗した状態
オフ（表示なし）	ワイヤレスサブウーファーがオフの状態

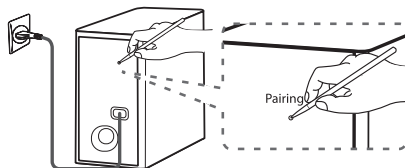
ワイヤレスサブウーファーを初めてセットアップする

1. サウンドバーとワイヤレスサブウーファーの電源コードをコンセントに差し込みます。
2. サウンドバーの電源を入れます。サウンドバーとワイヤレスサブウーファーが自動的に接続されます。
 - ワイヤレスサブウーファーの背面にある緑色のLEDが点灯します。

手動でワイヤレスサブウーファーをペアリングする

接続が完了していない場合、ワイヤレスサブウーファーの赤色のLEDが点滅して、ワイヤレスサブウーファーからは音が出ません。この問題を解決するためには、以下の手順に従ってください。

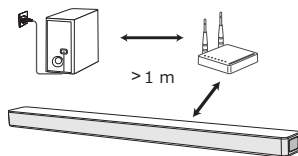
1. ワイヤレスサブウーファーの背面にある**Pairing**ボタンを押します。



- ワイヤレスサブウーファーの背面にある緑色のLEDが点滅します。
（緑のLEDが点滅しない場合は、**Pairing**ボタンを長押ししてください。）
2. サウンドバーの電源を入れます。
 - ペアリングが完了したら、ワイヤレスサブウーファーの背面にある緑色のLEDが点灯します。

✓ ヒント

- サウンドバーとワイヤレスサブウーファーの間で送受信して音声が出力されるまで数秒（またはもっと長く）かかります。
- サウンドバーとワイヤレスサブウーファーとの距離が近いほど、音質はさらに良くなります。本体とワイヤレスウーファーを近くに設置し、次のような状況避けることをお勧めします。
 - 本体とワイヤレスサブウーファーとの間に障害物がある。
 - 医療機器、電子レンジ、無線LAN装置など、本ワイヤレス接続と同じ周波数を用いている装置がある。
 - 無線干渉を防止するために、サウンドバーとサブウーファーを各機器（無線ルーター、電子レンジなど）から1m以上離してください。

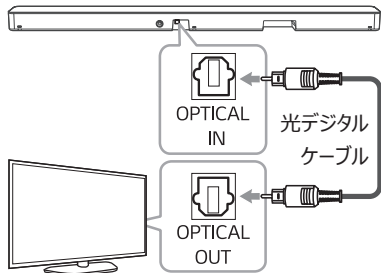


テレビに接続する

テレビの状態を考慮して、本機とテレビを光デジタルケーブルまたはHDMIケーブルで接続します。

オプティカルケーブルを使用する

1. 光デジタル(S/PDIF)ケーブルで、本機の背面のOPTICAL IN端子とテレビのOPTICAL OUT (光デジタル出力)端子をに接続します。



2. Fボタンを複数回押し、OPT/HDMI ARCへの入力ソースを選択します。

本機とお使いのテレビが正常に接続されると、表示窓に「OPT」が表示されます。

ヒント

- 接続する光ケーブルに保護カバーがついている場合は、光ケーブルを接続する前に保護カバーを外して下さい。
- 本機のスピーカーからテレビの音声をお楽しみいただけます。テレビのモデルによっては、テレビのメニューから外部スピーカーを選ぶ必要があるものもあります。(詳細については、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。)
- 本機を使って音声を聴くには、テレビの音声出力を次のように設定します：
テレビ設定メニュー → [Sound] → [TV Sound output] → [External speaker (Optical)]
- テレビ設定メニューの具体的な内容は、お使いのテレビの製造社やモデルによって異なります。
- 本機をOPTICALとARCが同時に接続されると、ARC信号が優先されます。

LG Sound Sync

Sound Sync Wireless

お使いのテレビのリモコンを使ってLG Sound Syncで本機の一部の機能を操作することができます。「LG Sound Sync」に対応するLGテレビに適合しています。お使いのテレビの「LG Sound Sync」ロゴをご確認ください。

LGテレビのリモコンで操作できる機能：音量の上げ下げ、ミュート

LG Sound Sync 機能についての詳細は、テレビの取扱説明書を参照してください。

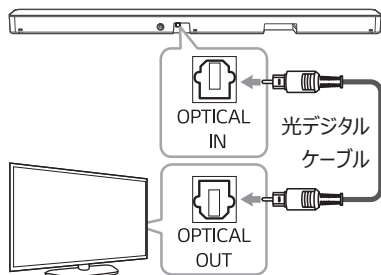
お使いの機器の性能に従って、次の接続うちの1つを行ってください。

ヒント

- LG Sound Syncの使用中には、本機のリモコンもお使いいただけます。テレビのリモコンを再度使用すると、本機はテレビと同期します。テレビの仕様によって、本機の音量はテレビと同期します。
- 接続に失敗した場合は、テレビや電源の状態を確認してください。
- LG Sound Syncの使用中に、以下のような場合には、本機の状態や接続状態を確認してください。
 - 本機がオフになる。
 - 別の機能に変更する。
 - 光ケーブルが切断される。
 - 干渉や距離によりワイヤレス接続が切断される。
- 自動電源機能をオンに設定した場合、本機の電源が切れるまでの時間は、お使いのテレビによって変わります。
- テレビの設定メニューの詳細は、お使いのテレビのモデルによって変わります。

有線接続によるLG Sound Sync

1. 光デジタル(S/PDIF)ケーブルでお使いのLGテレビを本ユニットに接続します。



2. 本機を通して音声を視聴するには、テレビの音声出力を次のように設定します：
テレビ設定メニュー → [Sound] → [TV Sound output] → [LG Sound Sync (Optical)]
3. 電源ボタンを押して本機の電源を入れます。
4. Fボタンを複数回押して、OPT/HDMI ARCへの入力ソースを選択します。
本機とお使いのテレビが正常に接続されると、表示窓に「LG OPT」が表示されます。



ヒント

テレビの設定メニューの詳細は、お使いのテレビのモデルによって異なります。

ワイヤレス接続によるLG Sound Sync

1. 電源ボタンを押して本機の電源を入れます。
2. Fボタンを複数回押して、LGテレビの機能を選択します。
3. 本機を通して音声を視聴するには、テレビの音声出力を次のように設定します：
テレビ設定メニュー → [Sound] → [TV Sound output] → [LG Sound Sync (Wireless)]

本機とお手持ちのテレビが正しく接続されると、表示窓に「PAIRED」とおよそ3秒間表示された後「LG テレビ」と表示されます。



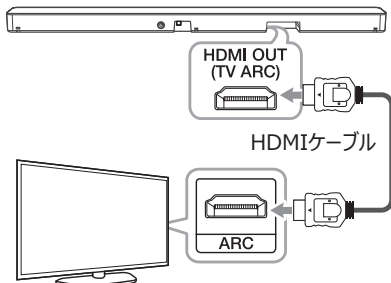
ヒント

電源（電源）ボタンを押して直接本機の電源を切った場合、LG Sound Sync（ワイヤレス）は切断されます。

HDMIケーブルを使用する

HDMIケーブルによって接続された機器同士を操作可能にしたりARC（オーディオリターンチャンネル）対応のテレビに本機を接続した場合、光デジタルケーブルへ接続せず、HDMIケーブル一本でテレビ音声の本機のスピーカーからお楽しみいただけます。

1. HDMIケーブルを使って本機背面のHDMI OUT（TV ARC）端子とテレビのARC端子を接続します。



2. Fボタンを複数回押して、OPT/HDMI ARCへの入力ソースを選択します。

本機とお使いのテレビが正常に接続されると、表示窓に「ARC」が表示されます。

✔ ヒント

- 本機のスピーカーからテレビの音声をお楽しみいただけます。テレビのモデルによっては、テレビのメニューから外部スピーカーのオプションを選ぶ必要があるものもあります。（詳細については、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。）
- 本機を通じて音声を聞くにはテレビの音声出力を次のように設定します：
テレビ設定メニュー → [Sound] → [TV Sound output] → [External speaker (HDMI ARC)]
- テレビ設定メニューの具体的な内容は、お使いのテレビの製造社やモデルによって異なります。
- お使いのLGテレビのモデルによっては、お使いのLGテレビでSIMPLINK機能をオンにする必要がある場合があります。
- 別の機能からARC機能に戻るときは、入力ソースをOPT/HDMI ARCに設定する必要があります。その後、本機が自動的にARC（オーディオリターンチャンネル）に変わります。

ARC（オーディオリターンチャンネル）機能

ARC機能によって HDMI対応テレビの音声を本機のHDMI OUTに伝送することができます。

ARC機能を使用するには：

- お使いのテレビがHDMI-CECおよびARC機能に対応しており、HDMI-CECとARCがオンに設定されている必要があります。
- HDMI-CECおよびARCの設置方法は、テレビによって異なる場合があります。ARC機能の詳細については、テレビの取扱説明書を参照してください。
- HDMIケーブル（タイプA、イーサネット対応高速HDMI™ ケーブル）を使用する必要があります。
- HDMIケーブルを使って、ARC機能に対応しているテレビのHDMI INを本機のHDMI OUTに接続する必要があります。
- ARCと互換性のあるテレビに対し、サウンドバーを一つだけ接続することができます。

SIMPLINKとは



本機とSIMPLINK対応LGテレビがHDMI接続で接続されている場合、本機の機能の一部をテレビのリモコンで制御することができます。

LGテレビのリモコンによって制御可能な機能：電源のオン/オフ、音量の調整など

SIMPLINK機能の詳細については、テレビの取扱説明書を参照してください。

SIMPLINK対応LGテレビには上図のようなロゴが付いています。

✔ ヒント

- 本機の状態によっては、SIMPLINKの操作がユーザーの意図と異なったり、うまくいかないこともあります。
- 本機に接続されているテレビやプレーヤーによっては、SIMPLINKの操作がユーザーの意図と異なる場合があります。

HDMIに関する追加情報

- HDMIまたはDVIで接続する際は、以下のことを確認してください。
 - サウンドバーとHDMI/DVIデバイスの電源をオフにします。次に、HDMI/DVIデバイスの電源をオンにして、30秒ほど待ってからサウンドバーの電源を入れます。
 - 接続した機器の映像入力为本機に正しく設定されます。
 - 接続されている機器は、720 x 576p（または480p）、1280 x 720p、1920 x 1080i、または1920 x 1080pの映像入力と互換性があります。
- HDCP互換性のHDMIまたはDVIデバイスのすべてがサウンドバーに対応しているわけではありません。
 - HDCPに対応していないデバイスでは、映像が正しく表示されない場合があります。



ヒント

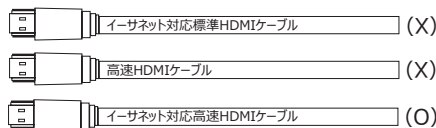
- 接続したHDMI機器が本機のオーディオ出力を受信しない場合、HDMI機器の音声が入り、表示されないことがあります。
- 接続がすでに確立されている状態で解像度の切り換えを行うと、故障の原因になる場合があります。問題を解決するには、プレーヤーの電源を一旦オフにして、再度電源をオンにし直してお試しください。
- HDCPによるHDMI接続に対応していない場合は、テレビ画面は黒画面に変わります。この場合は、HDMI接続を確認するか、HDMIケーブルをはずしてください。
- 画面にノイズや線が表示される場合は、HDMIケーブルを確認してください（規格上4.5m以内です）。
- HDMIモードでは、映像の解像度を変更することは出来ません。接続しているコンポーネントの映像の解像度を変更します。
- お使いのパソコンがHDMI IN端子に接続されている時に映像出力信号に異常があった場合は、パソコンの解像度を576p（または480p）、720p、1080i または 1080pに變更して下さい。

HDMIケーブルのチェックリスト

HDMIケーブルによっては、信号の伝送が不十分で、音声や映像の伝送に問題が生じることがあります。

HDMIケーブルを接続した後も、音が出なかったり、音が途切れたり、サウンドバーから雑音が聞こえたり、あるいはテレビに画像が出なかったり、滑画像が乱れたりする場合は、HDMIケーブルに問題がある可能性があります。

HDMI Licensing LLCで認証されたHDMIロゴのあるHDMIケーブルをご使用してください。また、使用するケーブルがタイプAの認証済みイーサネット高速HDMI™ケーブルであることをご確認ください。



HDMIケーブルを使用した接続*

HDMIケーブルを接続で音声システムによるライブ放送チャンネルを視聴するには、お使いのテレビが、最新のHDMI機能（HDMI CEC¹⁾ / ARC（オーディオリターンチャンネル）に対応している必要があります。お使いのテレビがこれらのHDMI機能に対応していない場合は、光デジタル(S/PDIF)ケーブルで音声システムへの接続を行わなければなりません。

1) HDMI CEC（高品位マルチメディアインターフェースの家電制御）

Consumer Electronics Control (CEC) は、HDMIの特徴であり、HDMIで接続されたCEC使用可能な機器のコマンドや制御を一つのリモコンで行えるように設計されています。

* CECによる商品名は、SimpLink(LG)、ブラビアリンク(ソニー)、ビエラリンク(パナソニック)、レグザリンク(東芝)

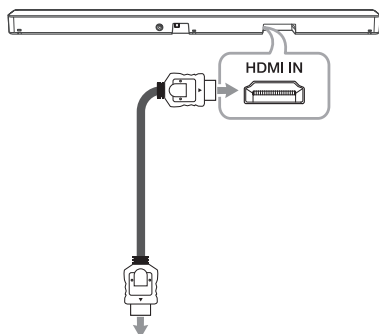
オプション機器の接続

HDMI接続

外部機器上のHDMI接続から音声と画像をお楽しみいただけます。

音声だけを楽しむ方法

接続した外部機器から音声をお楽しみいただけます。

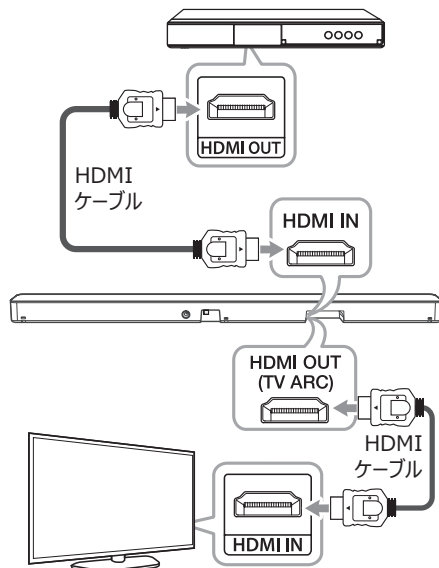


ブルーレイディスクプレーヤー、
DVDプレーヤーなどに接続

1. 本機の背面のHDMI IN 端子をブルーレイディスクプレーヤー、DVDプレーヤーなどのオーディオ機器のHDMI OUT端子に接続します。
2. **F** ボタンを複数回押して、HDMIへの入力ソースを選択します。

音声と画像の両方を楽しむ方法

接続した外部機器から音声と画像の両方をお楽しみいただけます。



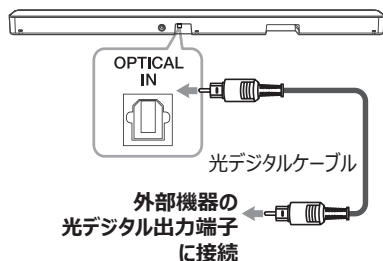
1. 本機の背面のHDMI IN端子をブルーレイディスクプレーヤー、DVDプレーヤーなどの外部機器のHDMI OUT端子に接続します。
2. 本機背面のHDMI OUT (TV ARC) 端子をテレビのHDMI IN端子に接続します。
3. **F**ボタンを複数回押して、HDMIへの入力ソースを選択します。

✓ ヒント

- 本機がオフになっている時は、音声と映像の信号は通過できません。
- HDMI OUT (TV ARC) 端子はテレビ接続用です。マルチチャンネルがHDMIケーブル経由で本機に入力されていても、本機はテレビにPCM2チャンネルのみ出力できます。

OPTICAL IN接続

外部機器の光デジタル出力端子をOPTICAL IN端子に接続します。



1. 本機の背面にあるOPTICAL IN端子をお使いの外部機器の光デジタル出力端子に接続します。
2. Fボタンを複数回押して、OPT/HDMI ARCへの入力ソースを選択します。
本機とお使いのテレビが正常に接続されると、表示窓に「OPT」が表示されます。

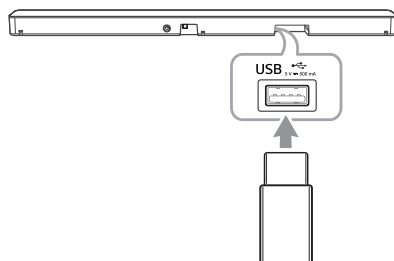


ヒント

接続する光ケーブルに保護カバーがついている場合は、光デジタルケーブルを接続する前に保護カバーを外して下さい。

USB接続

USB機器を本機の背面にあるUSBポートに接続します。



ヒント

HDMIケーブルが本機に接続されている場合、USBデバイスの形によってはUSBデバイスの挿入が制限されることがあります。

USBデバイスのファイル再生の詳しい情報については、30ページを参照してください。

USBデバイスを本機から取り外す。

1. 異なる機能/モードを選択します。
2. 本機からUSB機器を取り外します。

互換性のあるUSBデバイス

- MP3プレーヤー：フラッシュタイプMP3プレーヤー。
- USBフラッシュドライブ：USB2.0に対応する機器。
- 本機のUSB機能は全てのUSB機器に対応するわけではありません。

USB機器の要件

- 特殊なプログラムがインストールされているUSBデバイスは認識できない場合があります。
- 動作中のUSBデバイスは取り外さないでください。
- 大容量のUSBデバイスは、読み込みに時間がかかる場合があります。
- データの破損を防ぐために、全てのデータをバックアップしてください。
- 本機は最大2000ファイルまで認識します。
- 本機のUSBポートはPCに接続できません。本機は記憶装置としては使用できません。
- exFATのファイルシステムは、本機には対応していません。（FAT16またはFAT32でフォーマットされたUSBデバイスを使用してください。）
- 下記のUSB接続デバイスは正常に認識されない場合があります。
 - 外付けHDD
 - カードリーダー
 - ロックされた機器
 - ハードタイプのUSB機器
 - USBハブ
 - USB延長ケーブル使用時
 - iPhone/iPod/iPad
 - Android モバイルデバイス

再生可能なファイル

サンプリング周波数

MP3 : 32~48kHz
WMA : 32~48kHz
OGG : 32~48kHz
FLAC : 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、
88.2 kHz、96 kHz、176.4 kHz
および192 kHz（16ビット / 24ビット）
WAV : 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、
88.2 kHz、96 kHz、176.4 kHz
および192 kHz（16ビット / 24ビット）

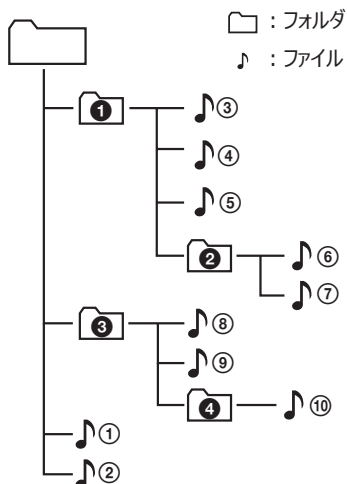
ビットレート解像度

MP3 : 80~320 kbps
WMA : 56~128 kbps
OGG : 64~500 kbps

- 最大ファイル数：最大2000
- 最大ディレクトリ数：最大200
- 本機では、DRM（デジタル著作権管理）で保護されたファイルは再生できません。
- USBバースに保存されたビデオファイルは再生できません。
- USBデバイスの性能により、正常に再生できない場合があります。

ヒント

- USBにあるフォルダおよびファイルは以下の順に認識されます。



- フォルダの中に音楽ファイルがない場合、フォルダは表示されません。
- ♪①から♪⑩の順に再生されます。
- ファイルは記録された順序で再生されますが、記録状況によって異なる場合があります。
- 本機は、英数字のフォルダ名、ファイル名を表示することができます。
- *ROOT：パソコンがUSBデバイスを認識する時、最初に表示される画面は「ROOT」です。

基本的な操作

USBデバイスの操作

1. USBポートにUSBデバイスを接続します。
2. **F**ボタン複数回押しして、USB機能を選択します。

使用したい機能	方法
再生	リモコンの ▶ ボタンを押します。
一時停止	再生中に、リモコンの ⏏ ボタンを押します。
次の/前のファイルにスキップする	再生中にリモコンの ▶ を押すと、次のファイルに移動します。 再生後3秒以内にリモコンの ◀ を押すと、前のファイルに移動します。 再生後3秒以上経過している時にリモコンの ◀ を押すと、現在のファイルの先頭に戻ります。
ファイル内のセクションを検索する	再生中に ◀ / ▶ を長押しし、聴きたい部分で指を離します。
リピート再生またはランダム再生する	リモコンの REPEAT を複数回押ししてモードを切り替えます。 表示変更の詳細については、注記を参照してください。
フォルダを検索する	リモコンの FOLDER へ/ を押しします。
再生を再開する	本機は、機能を変更するか、または本機の電源をオフにする直前に再生された曲を記憶します。

✔ ヒント

- レジューム機能は、コンセントを抜いたりUSBデバイスを取り外すと無効になります。
- リピート・ランダム再生の操作は以下の通りです。

表示	説明
OFF	USB上デバイスの動作順(28ページ)に再生します
ONE	同じ曲をリピート再生します。
FOLDER	フォルダ内の曲をリピート再生します。
ALL	USB機器上の曲をすべてリピート再生します。
SHUFFLE	すべての曲をランダムに1回ずつ再生してから、再生を停止します。

その他の操作

お使いのテレビのリモコンを使う

他社製テレビののリモコンで本機の音量の調整とミュート(消音)の設定ができます。

リモコンの**SOUND EFFECT**を約3秒間長押しします。表示ウィンドウに「ON - TV REMOTE」表示されれば、お手持ちのテレビのリモコンで本機を操作できます。

この機能の状態を確認するには、リモコンの**SOUND EFFECT**を長押しします。

この機能をオフにする場合は、リモコンの**SOUND EFFECT**を長押しし、表示ウィンドウに表示された「ON - TV REMOTE」がスクロールしている間に再度押しします。



ヒント

- お使いのテレビの音声出力が[外部スピーカー]に設定されていることを確認します。
- この機能は、LGテレビのマジックリモコンでは操作できません。
- HDMI、CEC、SIMPLINK、LG Sound Sync などのテレビのコントロール機能の設定がオンになっていると、この機能が正常に作動しない場合があります。
- すべてのテレビのリモコンが使用できることを保証するものではありません。

サウンド出力

音響効果	入力	出力
ASC	2.0 Ch	
	5.1 Ch	
STANDARD	2.0 Ch	
	5.1 Ch	
BASS BLAST または BASS BLAST +	2.0 Ch	
	5.1 Ch	
DTS VIRTUAL : X	2.0 Ch	
	5.1 Ch	

自動電源オン/オフ

本機は、入力ソースによって自動的に電源が入ります：光学デジタル(光デジタル)、LGテレビ、またはBluetooth。

お使いのテレビまたは本機に接続されている外部デバイスの電源を入れると、本機は入力信号を認識して適切な機能を選択します。お使いのデバイスから音声を聞くことができます。

お使いのBluetoothデバイスを接続しようとすると、本機の電源がオンになり、本機がお使いのBluetoothデバイスに接続されます。

この機能をオンにする場合は、リモコンの①ボタンを約3秒間長押しし、表示窓に「OFF - AUTO POWER」がスクロールしている間にもう一度押します。

この機能のステータスを確認するには、リモコンの①ボタンを押長押しします。

この機能をオフにする場合は、リモコンの①ボタンを約3秒間長押しし、表示窓に「ON - AUTO POWER」がスクロールしている間にもう一度押します。

ヒント

- 自動電源機能を使って本機の電源を入れた後、LG Sound Sync（光デジタル/ワイヤレス）で接続されたテレビから一定時間信号の入力がない場合は、本機の電源が自動的にオフになります。
- 自動電源機能を使って本機の電源をオンにした後、外部機器から一定時間信号の入力がない場合、本機の電源が自動的にオフになります。
- 本機を直接オフにした場合、自動電源機能によって自動的にオンにすることはできません。5秒以上音声信号がない場合、光デジタル(光学デジタル)からの信号を受信するとAUTO POWER機能で本機がオンになります。
- 接続された機器によっては、この機能が正常の動作しない場合があります。
- 本機を用いてBluetoothの接続を切断すると、一部のBluetooth機器は継続して本機に接続しようとします。従って、本機の電源を切断する前に接続を切断することをお勧めします。
- 本機を初めて起動するときは、AUTO POWER機能のステータスがオンになります。
- この機能を使用するためには、本機がBluetooth機器のペアリング機器リストに登録する必要があります。
- 本機の電源がオンの時にのみ、自動電源機能を設定することができます。

自動機能変更

本ユニットは Optical、HDMI ARC、Bluetooth、LG テレビ などの入力信号を認識し、自動的に適切な機能に変更します。

光デジタル信号が入力された時、

本機に接続された外部機器を光デジタルケーブルによってオンにすると、本機は機能を光デジタルに変更します。お使いの機器から音声を聞くことができます。

BLUETOOTH機器を接続しようとする場合

お使いのBluetooth機器を本機とペアリングしようとする時は、Bluetooth機能が選択されます。Bluetooth機器に保存された音楽を再生します。

テレビまたは外部機器の電源を入れます

光信号、LGサウンド同期（オプティカルまたはワイヤレス）やHDMI ARCで接続されたテレビやデバイスの電源を入ると、本サウンドバーが適切な機能に切り替わり、音声を聞くことができます。

ヒント

- SIMPLINK が接続したテレビ、ブルーレイディスクプレーヤー、セットトップボックスなどのデバイスの電源がオンになっているか、もしくは接続したCEC対応機器の電源がオンになっていると、自動的に光デジタル(オプティカル)には切り替わりません。
自動機能の変更を使用したい場合は、お使いのLGテレビのSIMPLINK機能をオフにします。SIMPLINKをオフにするには約30秒かかります。
- **Bluetooth**接続ロック機能が設定されている場合、**Bluetooth**の接続は、**Bluetooth**とLGテレビの機能においてのみ利用可能です。（ページ 36）

クイックスタート

本機は低消費電力でスタンバイ状態を維持できるため、本機の電源を入れる時に起動時間が短縮されます。

この機能をオンにするには、本機の電源がオンになっている状態で、ボタンを3秒間長押ししてください。

ディスプレイに「ON - Q. START」と表示されます。

この機能をオフにするには、本機の電源がオンになっている状態で、再度ボタンを3秒間長押ししてください。

ディスプレイに「OFF - Q. START」と表示されます。

ヒント

- クイックスタート機能が設定されていて、停電等によりAC電源が誤って本機に再接続された場合は、本機の電源を一度オンにしてからオフにした時にクイックスタート機能が働きます。
- クイックスタート機能を設定すると、クイックスタートがオフのときよりも消費電力が高くなります。
- モデルによっては、この機能が作動しない場合があります。

Bluetooth無線通信技術の使用

Bluetoothについて

Bluetoothは、短距離での接続を目的とした無線通信技術です。

接続が他の電波の干渉を受ける場合、または離れた場所から**Bluetooth**で接続する場合は、正常に動作しないことがあります。

Bluetooth無線通信技術の下でそれぞれのデバイスを接続しても、通信費用は発生しません。

Bluetooth無線通信技術を通して接続を行った場合、**Bluetooth**に対応のモバイルデバイスは、カスケード接続で操作できます。

- 利用可能なデバイス：スマートフォン、タブレット、MP3プレーヤー、ノートパソコンなど
- バージョン：4.0
- コーデック：SBC、AAC

Bluetoothのプロファイル

Bluetooth無線技術を利用するためには、接続デバイスが正確なプロファイルを認識する必要があります。このスピーカーは以下のプロファイルと互換性があります。

A2DP (Advanced Audio Distribution プロファイル)

Bluetoothデバイスの音楽の再生

ペアリング(接続)する前に、お使いのモバイルデバイスにある**Bluetooth**機能をオンにしておきます。お使いの**Bluetooth**対応接続デバイスの取扱説明書をご覧ください。一度ペアリング操作を行うと、再度行う必要はありません。

1. **F**ボタンを複数回押して、「**BT**」(**Bluetooth**)を選択してください。
表示窓に「**BT**」と「**READY**」が表示されます。
2. **Bluetooth**デバイスで、ペアリング操作を行います。ペアリングする**Bluetooth**デバイスで本スピーカーを検出する際に、接続デバイスの**Bluetooth**設定画面に、検出されたデバイスの一覧が表示されます。
お使いのスピーカーが「**LG SL5Y (XX)**」として表示されます。
3. 「**LG SL5Y (XX)**」を選択します。



ヒント

- **XX**は、アドレスの最後の4桁の数字を意味します。例えば、お使いの機器の**Bluetooth**の **MAC アドレス**が **9C : 02 : 98 : 4A : F7 : 08**である場合、「**LG SL5Y (08)**」と表示されます。
- **Bluetooth**機器の種類によって、一部の機器は異なるペアリング方法を持っています。**Bluetooth**ペアリングの詳細については、**Bluetooth**機器の取扱説明書を参照してください。

4. 本機が正常にBluetoothデバイスに接続されると、モニターウィンドウに「PAIRED」→「デバイス名」→「BT」と表示されます。

✓ ヒント

- ユニット上に機器名の表示がされない場合は、「_」が表示されます。
- 接続されている機器名を確認する場合は、リモコンの①ボタンを押します。接続されているBluetooth機器名が表示されます。

5. 音楽を聴きます。

ペアリングされたBluetoothデバイスの音楽の再生方法は、Bluetoothデバイスの取扱説明書を参照してください。

✓ ヒント

- Bluetooth接続は、出来るだけ近距離で本機とBluetooth機器とを接続し、できるだけ離さないようにしてください。ただし、以下の条件では正しく作動しないことがあります：
 - 本機とBluetooth機器との間に障害物がある。
 - 医療機器、電子レンジ、無線LAN機器などのBluetoothと同じ周波数を使用する機器がある。

✓ ヒント

- Bluetooth接続がうまくいかない場合は、再度ペアリングを行ってください。
- 接続が他の電子機器の電波に干渉されると、音が遮られることがあります。
- ペアリングは、1つの装置に対して1つのBluetoothデバイスに制限されており、マルチペアリングには対応していません。
- 機器の種類によって、Bluetooth機能を使用できないことがあります。
- スマートフォン、MP3、ノートパソコンなどを使ってBluetooth機能をお楽しみいただけます。
- 本機とBluetooth機器の間の距離が離れると、音質も低下していきます。
- 本機の電源をオフにする場合、またはBluetooth機器が本機から遠く離れる場合は、Bluetooth接続が切断されることがあります。
- Bluetooth接続が切断された時は、Bluetooth機器をもう一度本機に接続し直してください。
- 本機が接続されていない場合、表示ウィンドウに「READY」と表示されます。
- Bluetooth機器（iOSデバイスなど）を本機に接続するか、または機器を操作する場合は、互いの音量レベルを同期させることが出来ます。
- Bluetooth接続後に別の機能に切り替えると、Bluetooth接続が切断されます。Bluetooth機能に戻ると、Bluetooth接続が自動的に接続されます。

ペアリングされているBluetoothデバイスの操作

ペアリングされているBluetoothデバイスを本機のボタンで操作できます（再生、一時停止、スキップ、ボリューム）。

ヒント

- Android OS及びiOSでのみ、この機能を使用することができます。
- この機能は、すべてのBluetooth対応デバイス、テレビで利用できることを保証するものではありません。

Bluetooth接続ロック（BTロック）

意図していないBluetooth接続を防ぐために、Bluetooth接続をBT（Bluetooth）とLGテレビ機能のみに制限することができます。

この機能をオンにするには、リモコンのDIIボタンをBT（Bluetooth）機能で約3秒間長押しし、「OFF - BT LOCK」がスクロールされている間に、もう一度押します。その後、Bluetooth接続を制限することができます。

この機能をオフにするには、リモコンのDIIボタンをBT（Bluetooth）機能で約3秒間長押しし、「ON - BT LOCK」がスクロールされている間に、もう一度押します。

ヒント

BT LOCK機能をオンに設定していても、自動電源機能によって本サウンドバーがオンになります。これを防ぐためには、自動電源機能をオフにしてください。（ページ 32）

BLUETOOTHアプリの使用

ヒント

- Android OSでしか、本機を使用して「Music Flow Bluetooth」アプリを利用することはできません。
- お使いの機器の料金プランによっては、3Gまたは4Gを使用してインストールを行った場合、追加のデータ料金が発生することがあります。

「Music Flow Bluetooth」アプリについて

「Music Flow Bluetooth」アプリは、本機に新しい機能を提供します。

より多くの機能をお楽しみいただくために、「Music Flow Bluetooth」アプリを無料ダウンロードしてインストールすることをお勧めします。

お使いのBLUETOOTHデバイス上に「Music Flow Bluetooth」アプリをインストールします。

「Music Flow Bluetooth」アプリをお使いのBluetoothデバイスにインストールするには、2通りの方法があります。

QRコードを利用して「Music Flow Bluetooth」アプリをインストールする

1. QRコードを利用して「Music Flow Bluetooth」アプリをインストールします。QRコードをスキャンするために、スキャン用ソフトウェアを使用します。



2. アイコンをタップしてインストールを開始します。

 ヒント

- お使いの**Bluetooth**機器がインターネットに接続されているか確認してください。
- お使いの**Bluetooth**機器に、スキャン用のソフトウェアアプリがインストールされているか確認してください。インストールされていない場合は、「Google Android Market (Google Play Store)」からダウンロードしてください。
- 地域によって、QRコードが機能しないことがあります。
- 「LG Audio」アプリを使用して、本機用のアプリを検索できます。
Android OS : Ver 5.0以降

「Google Android Market (Google Play Store)」から「Music Flow Bluetooth」アプリをインストールする

1. 「Google Android Market (Google Play Store)」のアイコンをタップします。
2. 検索バーに「Music Flow **Bluetooth**」と入力し、検索します。
3. 検索結果リストから「Music Flow **Bluetooth**」を探してタップし、Bluetooth アプリのダウンロードを開始します。
4. アイコンをタップしてインストールを開始します。

 ヒント

- お使いの**Bluetooth**機器がインターネットに接続されているか確認してください。
- お使いの**Bluetooth**機器に「Google Android Market (Google Play Store)」が搭載されているか確認してください。

「Music Flow Bluetooth」を用いて BLUETOOTH を有効にする

「Music Flow **Bluetooth**」アプリは、お使いの**Bluetooth**機器を本機に接続するのに役に立ちます。

1. ホーム画面上の「Music Flow **Bluetooth**」アプリのアイコンをタップして「Music Flow **Bluetooth**」アプリを開き、メインメニューへと移動します。

2. 操作に関する詳細については、[Setting]をタップして[Help]メニューをタップしてください。

 ヒント

- 「Music Flow **Bluetooth**」アプリは以下のソフトウェアバージョンで利用できます；
 - Android O/S : Ver 4.0.3 (またはそれ以降)
- 「Music Flow **Bluetooth**」アプリを使用して操作している場合は、「Music Flow **Bluetooth**」アプリと提供されたリモコンとの間でいくつかの違いがあることがあります。提供されたリモコンを必要に応じて使用してください。
- **Bluetooth**機器によっては、「Music Flow **Bluetooth**」アプリが作動しないことがあります。
- 「Music Flow **Bluetooth**」アプリを接続した後、音楽がお使いの機器から出力されることがあります。この場合は、再度接続の手順を行ってください。
- 「Music Flow **Bluetooth**」アプリの使用中に、他のアプリの操作やお使いの**Bluetooth**機器の設定変更を行うと、「Music Flow **Bluetooth**」アプリが正常に作動しないことがあります。
- 「Music Flow **Bluetooth**」アプリが誤作動する時は、お使いの**Bluetooth**機器および「Music Flow **Bluetooth**」アプリの接続を確認してから、再度接続してみてください。
- 「Music Flow **Bluetooth**」の操作方法は、スマートフォンのOSによって異なります。
- **Bluetooth**の接続が切れていても、機能を変更すると、「Music Flow **Bluetooth**」アプリを使用することができます。
- 「Music Flow **Bluetooth**」アプリが提供する追加機能は、本機と**Bluetooth**機器と無線状況によっては作動しない場合があります。

故障かなと思ったら

一般

状況	原因と対処方法
本機が正常に動作しない。	- 本機および接続されている外部デバイス（テレビ、ウーファー、DVD/ブルーレイプレーヤー、アンプなど）の電源をオフにしてから、再度オンにします。 - 本機および接続されている外部デバイス（テレビ、ウーファー、DVD/ブルーレイプレーヤー、アンプなど）の電源コードを外してから、再接続してください。 - デバイスの電源をオフにすると、設定した内容が保存されないことがあります。
電源が入らない。	- 電源コードが抜けています。 電源コードを差し込んでください。 - 電気が故障していないかどうか確認してください。 他の電子機器を操作することによって操作条件を確認してください。
音声が出力されない。	- 不正な入力ソースが選択されています。 デバイスの接続、端子に設定されているか確認し、接続された入力に変更してください。 - ミュート機能が有効になっています。 ⏸（Mute）を押すか音量を調節してミュートを解除してください。 - 接続したデバイスの音量が最小になっていないか確認してください。
ウーファーから音が出ない。	- サブウーファーの電源ケーブルが接続されていません。 サブウーファーの電源プラグをコンセントに正しく差し込んでください。 - 本機とサブウーファーのペアリングが解除されています。 サウンドバーとサブウーファーを接続してください。（ページ 20）
リモコンの操作がうまくできない。	- リモコンが装置から離れすぎています。 リモコンの有効範囲は7m以内です。リモコン操作が7m以内であること、リモコンを受光部に正しく向けて操作してください。 - 本機とリモコンの間に障害物があります。 障害物を取り除いてください - リモコンの電池が切れています。 新しい電池に交換してください。
自動電源機能が作動しない。	- テレビ、DVD/ブルーレイプレーヤーやBluetoothデバイスが正しく接続されているか確認してください。 - お使いのLGテレビのSIMPLINKの状態を確認し、SIMPLINKをオフにしてください。 - 接続された機器によっては、この機能が作動しない場合もあります。
LG Sound Syncが作動しない。	- お使いのLGテレビがLG Sound Syncに対応しているかを確認してください。 - LG Sound Sync（光デジタル、またはワイヤレス）の接続状態を確認してください。 - テレビと本機のサウンド設定をご確認ください。

状況	原因と対処方法
本機が Bluetooth デバイスに接続されていない	• Bluetooth接続ロック機能をオフにします。(ページ 36)
本機から出力される音が小さい	以下のを確認し、それに従って本機を調節してください。 • サウンドバーがテレビに接続されている状態で、テレビの光デジタル接続の設定に関するメニューを[PCM]から[AUTO]または[BITSTREAM]に変更します。 • サウンドバーがプレーヤーに接続されている状態で、プレーヤーの光デジタル接続の設定に関するメニューを[PCM]から[PRIMARY PASS-THROUGH]または[BITSTREAM]に変更します。 • 接続された機器のオーディオDRCの設定に関するメニューの設定を[OFF]状態に変更してください。 • ナイトモードがオンになっていないことを確認してください。ナイトモードを[OFF]にしてください。

無線を使用するにあたっての注記

状況	原因と対処方法
本機器は、無線干渉を起こすことがあります。	• 無線は、電波信号が弱い地域では正常に作動しないことがあります。 • サウンドバーとサブウーファーは近くに設置してください。 • Bluetoothやワイヤレスウーファーを正常に動作させるため、金属製のラックや家具の上には設置しないでください。
以下のような場合、 Bluetooth 機器が正常に作動しないか、またはノイズが発生することがあります。	• 以下の場合正常に動作しない場合があります。 • 身体が触れているなどBluetoothデバイスまたはサウンドバーの受光部をふさいでしまっている場合。 • 本機とBluetoothデバイスの間に障害物がある場合。 • Bluetoothと同じ周波数帯の機器(無線ルーター、医療機器、電子レンジなど)がある場合。 • 本機とBluetoothデバイス接続時に距離が離れている場合 • 障害物または壁があったり、機器を閑静な場所に設置している場合。

デモモードを解除するときの注意

状況	原因と対処方法
Fボタンを押しても[DEMO]と表示されて入力を変更できない。	電源コードを一旦抜いてから、再度差し込んでください。それでも機能しない場合は、現在選択されている機能がディスプレイに表示されるまで本体のFボタンを（約5秒）長押ししてください。
リモコンが応答しない。	

商標とライセンス



「Dolby Laboratories」のライセンスを受けて製造されています。Dolby、Dolby Audio、Dolby Vision、そして「ダブルD」シンボルは、Dolby Laboratoriesの商標です。



DTS特許に関しては、<http://patents.dts.com>をご参照ください。DTS Licensing Limitedからのライセンスを受けて製造されています。DTS、シンボルマーク、DTSとシンボルマークとの複合ロゴ、Digital Surroundは、米国およびその他の国におけるDTS、Inc.の登録商標または商標です。© DTS, Inc. All Rights Reserved.



DTS特許に関しては、<http://patents.dts.com>をご参照ください。DTS Licensing Limitedからのライセンスを受けて製造されています。DTS、Symbol、DTSおよびSymbol、Virtual : X、およびDTS Virtual : Xロゴは、米国およびその他の国におけるDTS、Inc.の登録商標です。© DTS, Inc. All Rights Reserved.



Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG、Inc.が所有する登録商標であり、LG Electronicsはこれらのマークをライセンスを受けて使用しています。その他の商標と商号はそれぞれの所有者の商標または商号です。



HDMIとHDMI高解像度マルチメディアインターフェース、およびHDMIロゴは、米国やその他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標、または登録商標です。

その他の全ての商標はそれぞれの企業の商標です。

仕様

一般	
消費電力	本機のメインラベルを参照してください。
ACアダプタ	• モデル : DA-50F25 • 製造者 : Asian Power Devices Inc. • 入力 : 100 - 240 V ~ 50 - 60 Hz • 出力 : 25 V $\overline{\text{---}}$ 2 A
寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	約 890.0 mm X 57.0 mm X 85.0 mm (足付き)
重量	2.35 kg
操作温度	5 °C ~ 35 °C (41 °F ~ 95 °F)
操作湿度	5 % ~ 90 %
バスパワー (USB)	5 V $\overline{\text{---}}$ 500 mA
利用可能なデジタル入力音声 サンプリング周波数	32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz
利用可能なデジタル入力 オーディオ形式	ドルビーオーディオ、DTSデジタルサラウンド、PCM

入力 / 出力	
OPTICAL IN	3 V (p-p) 、オプション端子 x 1
HDMI IN	19 Pin (Aタイプ、HDMI™コネクタ) x 1
HDMI OUT	19 Pin (Aタイプ、HDMI™コネクタ) x 1

アンプ (RMS出力)	
合計	400 W RMS
前面	90 W RMS x 2 (4 Ω 、1 kHz、THD 10%)
サブウーファー	220 W RMS (3 Ω 、80 Hz、THD 10%)

ワイヤレスサブウーファー	
所要電力	サブウーファーのメインラベルを参照してください。
消費電力	サブウーファーのメインラベルを参照してください。
タイプ	1ウェイ1スピーカー
インピーダンス	3 Ω
定格入力電力	220 W RMS
最大入力電力	440 W RMS
寸法（幅 x 高さ x 奥行）	約 171.0 mm x 393.0 mm x 248.5 mm
重量	5.3 kg

- デザインと仕様は予告なしに変更される場合があります。

スピーカーの取り扱いについて

スピーカーを輸送する時は

梱包箱と梱包材は保管しておいてください。本製品を輸送する必要がある場合、製品の保護のため、出荷時と同じ梱包形態にして輸送することをお勧めします。

外部表面を清潔な状態に保つ

- スピーカーのそばで殺虫剤スプレーなどの揮発性の液体を使用しないでください。
- 強く拭き取ると表面を傷つけることがあります。
- ゴムやプラスチック製品を長時間このスピーカーに触れたままにしないでください。

スピーカーのお手入れ

スピーカーのお手入れには、柔らかい乾いた布をご使用ください。表面がひどく汚れた場合には、柔らかな布を中性洗剤で軽く湿らせてお使いください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの揮発性溶剤は、スピーカーの表面を侵食する可能性がありますので、使用しないで下さい。

